6. 課題解決に向けた横断的な留意事項

(1)産業政策も地域政策も攻めの視点を重視

・新たな農政の効果が地域において最大限発揮されるような農業農村整備の展開

・農業の自立を促す仕組みに転換しチャレンジする地域・農家を支援

・個々の活動主体の数、規模等が限定されてくる中で、広域的な連携や異業種交流等を通じた効果的・効率的な取組を強化

・地域資源の高度利用による農産物の高付加価値化、高齢者・女性の積極的な活用等

(2)産業政策と地域政策の有機的な連携・補完、地域コミュニティの最大限の活用

・産業競争力の強化を集落全体で支え、それが集落自体の生活を豊かにする姿を目指す

・あらゆる産業政策・地域政策の展開に際して、地域コミュニティを最大限活用

(3)地域の特性や状況に配慮した機動的な対応

・地域ごとに異なる特性や条件を踏まえて、画一的ではない、それぞれに応じた目指すべき方向性や方策を追及

(4)関連施策や関係団体との連携強化

・関連施策との連携、省庁間連携の枠組みを構築することにより、効率性の高い行政サービスを提供するとともに、施策の相乗効果を高めていく

・都道府県、市町村、土地改良区等との連携や支援体制の充実

(5)優良・先進的な取組の体系的整理・効果的な広報と横展開

（参考）今後の農村社会の変化等を踏まえた農業農村整備の課題（１／３）

項目		課題
１．収益性の向上や競争力強化を目指した「産業政策」	（１）農地集積の促進と生産基盤の更なる機能向上	○　今後、限られた担い手への更なる営農集中が想定される中、農業構造の改革の推進と営農労力や生産コストの低減が課題 ○　農地の大区画化による担い手への農地集積・集約化や生産コストの一層の縮減 ○　基盤整備事業と農地中間管理事業との綿密な連携 ○　規模拡大のスケールメリットが発揮されにくい用排水管理や畦畔管理の更なる省力化 ○　中山間地域における特色ある営農展開や安全性等作業環境の改善を目指したきめ細かな整備の推進 ○　ICT等を活用した広域的な水管理の自動監視・制御や営農省力化技術の基盤整備における実用化
	（２）地域営農戦略の再構築への対応	○　新たな農政の展開により、今後、地域や農家の判断により、営農戦略の見直しが想定 ○　地域ごとに策定される「水田フル活用ビジョン」を踏まえ、農業用水の需要変化や水田の畑地化等に的確かつきめ細かに対応し、多様な営農を支援する体制を整備 ○　地域営農の見直しを踏まえて、水需要の変化、水田の畑作化、畑地かんがい、高付加価値化農業への転換等の取組を機動的に支援
	（３）多様な担い手や営農への支援	○　基幹的農業者の高齢化は顕著であり、地域農業の中心となる担い手の育成・確保は喫緊の課題 ○　女性や若者を含めた多様な人材を活用しつつ６次産業化を推進し、農村地域の所得の向上や雇用確保を図る ○　基盤整備の機会を最大限に活用した、多様な担い手の育成・確保に向けた取組の充実・強化 ○　基盤整備を契機とした６次産業化の取組拡大、計画段階からの連携

（参考）今後の農村社会の変化等を踏まえた農業農村整備の課題（２／３）

項目		課題
２．地域社会の維持や地域の安全・活性化を目指した「地域政策」	（１）集落構造の再構築	○　少数の担い手と多数の土地持ち非農家に分化していく中で、土地持ち非農家等の新たな役割を地域における話合いにより明確化することにより、資源保全と地域活性化を図る必要
	（２）地域資源・環境の保全・向上と地域コミュニティの強化	○　担い手に集中する水路・農道等の管理を地域で支える共同活動を全国的に展開 ○　地域コミュニティによる地域環境・資源の高度な活用を促進 ○　地域資源の保全活動の広域化に向けた取組の充実・拡大 ○　地域コミュニティによる農地周り施設の長寿命化を図るきめ細かな取組の推進 ○　基盤整備における「環境との調和への配慮」において、地域づくりと一体となった取組を一般化し、地域資源・環境保全活動を活発化
	（３）農業・農村を活かした地域社会の活性化	○　集落機能が低下しつつある農村の再生を図るため、さらなる都市と農村の共生・対流を進めていく必要 ○　福祉、教育、観光、まちづくり、環境等の分野において、交流を軸とし関係府省が連携した効果的な取組の拡大・定着が課題 ○　世界農業遺産（GIAHS）を活用した農産物のブランド化や観光等との連携によるグリーンツーリズムなど、農業・地域振興に向けた取組が課題 ○　棚田や疏水等の美しい農村景観の保全･活用や地域発展の歴史の伝承等を通じた農村の活性化 ○　再生可能エネルギーを活用した農村の活性化の取組と農業農村整備との計画段階からの連携
３．老朽化の進行や防災・減災等に対応した農業水利施設等の保全・管理	（１）農業水利施設等の持続的な保全・管理	○　基幹的農業水利施設については、10年後に耐用年数を超過する施設が全体の３割に増加するなど老朽化が進行する中、効率的な保全・更新が必要 ○　農業水利施設は水源等の基幹から農地周りの末端水路までを通じてその機能を発揮しているが、所有者や管理者等が異なっており、関係者が一体となった持続的な保全・管理体制の構築が課題 ○　インフラ長寿命化基本計画に基づき、補修・更新時期の最適化やライフサイクルコストの低減への取組等、戦略的な維持管理・更新等を推進 ○　新技術やICTの活用による維持管理・更新システムの高度化や低コストな更新技術の開発・実用化に向けた取組を推進 ○　農村の生活環境施設も老朽化が進行しつつあるが、その更新に当たっては、今後の人口減少を見据えた適正規模への集約化や再編整理が必要

（参考）今後の農村社会の変化等を踏まえた農業農村整備の課題（３／３）

項目		課題
３．老朽化の進行や防災・減災等に対応した農業水利施設等の保全・管理	（２）防災・減災への取組強化	○　食料の安定供給を果たしていくための基幹的水利施設の耐震化・老朽化対策とサプライチェーンの防災事業との連携 ○　国営土地改良施設管理者による業務継続計画（ＢＣＰ）策定による被災時の食料安定供給や二次被害への影響を最小化 ○　国民生活・財産を保全するための防災・減災対策を、施設の総点検、二次被害の視点等から見た重要度などを踏まえつつ計画的に推進 ○　農地や農業水利施設を活用した総合的な防災対策を推進。また、地域コミュニティによる防災・減災や復旧・復興活動を推進 ○　関係機関・省庁が連携した効率的・効果的な防災・減災への取組体制の構築 ○　地球温暖化に対応した適応策等の検討
	（３）土地改良施策の今後の留意点	○　農業構造改革に伴う小規模農家や土地持ち非農家の増加と大規模な担い手農家への農地集積の進展により、集落による農地や水の管理、土地改良区の組織運営、土地改良事業の実施等の様々な局面に影響 ○　また、農業水利施設の老朽化や大規模な災害の発生可能性等を踏まえた、効果的な長寿命化対策の実施や円滑な更新が必要 ○　これらに対応した役割分担や施策・制度のあり方について検討が必要
４．課題解決に向けた横断的な留意事項		○　産業政策も地域政策も攻めの視点を重視 ○　産業政策と地域政策の有機的な連携・補完、地域コミュニティの最大限の活用 ○　地域の特性に配慮した機動的な対応 ○　関連施策や関係団体との連携強化 ○　優良・先進的な取組の体系的整理・効果的な広報と横展開